



市章

広報 えびな

発行・海老名市役所・海老名市国分155/編集・秘書広報課/電話・31-2111(代) /〒243-04

世帯と人口

昭和58年9月1日現在
世帯 26,558世帯 (+48)
人口 87,290人 (+204)
男 44,837人 女 42,453人

毎月1日・15日発行



もぐり橋物語

厚木市側から海老名市側を望む

歴史ある生活のかけ橋

住民の熱意が架けた相模小橋(もぐり橋)

県道横浜厚木線の相模大橋のすぐ上流に大橋とは比べものにならないほど橋脚が低く、幅も狭い橋が架けられています。通称「もぐり橋」、正式名称を「相模小橋」というこの橋をみなさんは一度は渡ったことがあると思います。台風などで相模川が増水するとすく不通になり、そのたびに復旧工事をする必要はない「もぐり橋」、なぜ、隣りに大橋があるのに、と疑問も出ますが、ここにひとつの物語があります。



撤去直前の相模橋(厚木市提供)

前身は「相模橋」

相模大橋、相模小橋が架けられている辺りは、小鮎川、中津川が相模川と合流する、「三川合流地点」で、江戸時代には「厚木の渡し」があり、旅人はここから舟で対岸へ渡ったのです。しかし、当時では治水の困難さと戦路上の理由もあってここに橋が初めて架けられたのは明治四十四年のこと、最初の橋は「果営相模橋」と言いました。その橋は明治四十二年には架けられてしまひ、代わって大正二年一月二十六日、新しい鉄橋に生まれ変わりました。この鉄橋は全長三百四十八・六六、幅四・五五でした。

この橋は、実は現在の相模小橋架橋の発端となったもので架けられていた場所も現在の相模小橋とはほぼ同じ位置でした。この橋を、実は現在の相模小橋架橋の発端としたもので架けられていた場所も現在の相模小橋とはほぼ同じ位置でした。戦時中、厚木飛行場を建設す

相模大橋が完成

戦時中、厚木飛行場を建設す

るために相模川が大量の砂利が採取されたため、海老名寄りの橋脚が六十センチも沈下したことで、老朽化のため、昭和二十七年、相模橋の強度を測る耐荷力測定が行われました。その結果、最大荷重は従来の六ノから五ノに減らされ、また通過車両のスピードも時速十ノ以下に制限されることになりました。しかし、地域産業・経済の発展によつて利用度が増え、ますます高まったため、昭和三十年六月十日、その約五十ノ下流に全長三百八十一、幅九ノの相模大橋が開通したのです。

ここにきて、近い将来の相模橋が撤去されるとはどれほど目にも明らかになりました。ところが、長い間、相模橋によつて生活してきた両岸の街は街並みそのものが相模橋に合わせて形が開発され、相模橋が撤去された場合、互いに盛んな往来をするということによって失えきった街並みの喪失は必至であり、また、この橋を重要な生活橋として日々利用してきた人々にとつては、道場を失うて行かなくなればならない相模大橋はやはり不便でした。開通当初は歩道部分が多く、かなりのスピードが出したからです。

この橋は「相模橋」と呼ばれて海老名・厚木両岸住民から親しまれ、大正十一年に起きた関東大震災後の修復を経て、昭和三十九年まで、実に五十年余にわたつて人々の生活を支えた橋でした。この橋を、実は現在の相模小橋架橋の発端としたもので架けられていた場所も現在の相模小橋とはほぼ同じ位置でした。戦時中、厚木飛行場を建設す

証言②

(河原口、53歳)



もぐり橋は厚木市へ買い物に行くのにいつも渡っていました。大橋を通つて行くよりもぐり橋で行くときの倍の時間がかかります。台風で一二日不通になると一年も通れなかつたこともありますが、生活に欠かさない橋です。

検討の末、潜水橋に

両岸住民の間に、相模橋の撤去問題が騒然たる論議をひき起こしたのは当然で、昭和三十六年、この問題の対策を考える機関として海老名町、厚木市の議会議員による「相模橋対策協議会」が組織されました。今の状態では撤去されることはやむを得ない、かと言って橋がなくとも不便だし、しかし同じ場所に相模橋の新しい橋を架けてもらうには協賛を得し得る公益上の理由に乏しい、といった住民のシレインを感じながら同協議会が出した結論は、海老名町、厚木市で資金を出し合い、工費が安く、ある程度の耐久性を持った潜水橋形式の橋を相模橋と同じ場所に架ける、というものでした。こうして三十九年六月、相模橋は撤去されてその五十年にわたる使命を終え、その翌年か

出したからです。住民の強い要望を受けてかなり激しい議論もしたましたが今の状態を言わねばは橋を架けてよかつたと思つていました。それにしても、起工式も完成式も行われなかつたもぐり橋は何か可愛そつたなまじり相模川の橋が少なく、交通上のネックになっている今日大切な橋のひとつです。相模小橋という名前よりも多くの人々「もぐり橋」とこの橋を呼んでいます。文字通り水面下にもぐり、これは毎年台風シーズンで、その際、流木などがせき止められてダム状になり橋全体が破壊されないよう、海老名側約二十ノの取り付け道路が流失して水の突出口となる構造のため、増水の後は通行止めになります。砂利を積み上げた土をスプアルトで固めた取り付け道路の復旧工事には約百万円かかり、費用は年度ごとに交替で海老名市と厚木市が負担しています。さて、こんな物語のある「もぐり橋」は、今日も人々の生活に深くかかわり、両岸地域の発展に役立っています。

「や」の「い」を「え」にやっていたら、今までの人生は全く違っていたら、と今更には悔いがない人生を歩いてきた。...

今月のプロフィール

悔いがない人生

市内最高齢者の佐藤伊平次さん

故郷の津波から北海道に渡った。七人兄弟の長男であった。...



剣道4段の腕前

「すい」の字を「ずい」とした。他の人にも「すい」の字を「ずい」とした。...

特別養護老人ホーム「みどり」(〒243-0414)

市内上今泉一丁目に住む江井政昭さん(四十八歳)は、このほど米国ワシントン州シアトル市の名譽市民第一号となり、話題になっていく。



名譽市民賞と江戸ゴマを手に

シアトル名譽市民に 江戸ゴマ作りの江井さん

江井さんは、現在、日本に二人しかいないと言われる江戸ゴマ職人のひとり。...

9月価格情報 (単位:円)

Table with 4 columns: Item, Unit, Average Price, Maximum Price. Includes items like rice, oil, and various goods.

価格は、市消費生活モニター30人の協力を得て9月初めに調査した通常平均価格です。()内は前年同月比(%)は安。

スロア・ブック

第1回ロードレース大会 (8月26日、大谷中町前(栗山))

第2回ロードレース大会 (10月13日、大谷中町前(栗山))

第3回ロードレース大会 (11月10日、大谷中町前(栗山))

第4回ロードレース大会 (12月7日、大谷中町前(栗山))

第5回ロードレース大会 (1月4日、大谷中町前(栗山))

第6回ロードレース大会 (2月1日、大谷中町前(栗山))

第7回ロードレース大会 (2月18日、大谷中町前(栗山))

第8回ロードレース大会 (2月25日、大谷中町前(栗山))

第9回ロードレース大会 (3月4日、大谷中町前(栗山))

第10回ロードレース大会 (3月11日、大谷中町前(栗山))

第11回ロードレース大会 (3月18日、大谷中町前(栗山))

第12回ロードレース大会 (3月25日、大谷中町前(栗山))

第13回ロードレース大会 (4月1日、大谷中町前(栗山))

第14回ロードレース大会 (4月8日、大谷中町前(栗山))

第15回ロードレース大会 (4月15日、大谷中町前(栗山))

第16回ロードレース大会 (4月22日、大谷中町前(栗山))

第17回ロードレース大会 (4月29日、大谷中町前(栗山))

第18回ロードレース大会 (5月6日、大谷中町前(栗山))

第19回ロードレース大会 (5月13日、大谷中町前(栗山))

第20回ロードレース大会 (5月20日、大谷中町前(栗山))

第21回ロードレース大会 (5月27日、大谷中町前(栗山))

第22回ロードレース大会 (6月3日、大谷中町前(栗山))

第23回ロードレース大会 (6月10日、大谷中町前(栗山))

第24回ロードレース大会 (6月17日、大谷中町前(栗山))

第25回ロードレース大会 (6月24日、大谷中町前(栗山))

第26回ロードレース大会 (7月1日、大谷中町前(栗山))

第27回ロードレース大会 (7月8日、大谷中町前(栗山))

第28回ロードレース大会 (7月15日、大谷中町前(栗山))

第29回ロードレース大会 (7月22日、大谷中町前(栗山))

第30回ロードレース大会 (7月29日、大谷中町前(栗山))

第31回ロードレース大会 (8月5日、大谷中町前(栗山))

第32回ロードレース大会 (8月12日、大谷中町前(栗山))

愛川町へ新バス路線

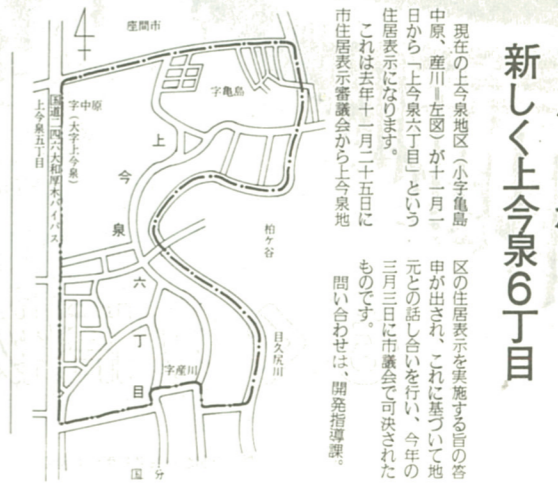
海老名駅西口から上下今泉経由で



今月3日から

Table showing bus departure times from Honshu Station to Ebi-na Station West Exit.

Table showing bus departure times from Ebi-na Station West Exit to Aikawa-cho.



市長随想 三期目に挑む



九月五日、市長三期目の就任をいたしました。市民のみなさんには感謝とお礼を申し上げます。

情報コーナー

ミニバスケットボール講習会
ミニバスケットボールは、バスケットボールを小学生用にルールや施設を変えて行うもの。

第2回ロードレース大会
10月16日(日)午前8時半から、大谷中町前(栗山)で実施。

市役所から
郵送による市民意識調査にご協力
「市民の生活環境の実情」地域での連携意識を高めるための調査。

住宅統計調査
ただ今実施中
10月12日(水) 柏ヶ谷児童館、13日(木) 市役所第1会議室。

あき葉や乗物盗にご注意
10月11日～20日 秋の全国防犯運動
市民税課

募集
市営住宅(杉久保)の入居者募集
空家(見込み)入居者の募集を行います。

道路台帳整備にご協力を
9月24日から来年3月24日まで、大谷・園分寺台・中新田・今里・杉久保地区の道路台帳を整備して行きます。

生活用品交換情報
くまぐま>男性用自転車、けだ箱、エレクトーン、オルガン、ペビーオルゴール、ペビーバス、おまる。

フットビーズ

くつろいで観賞

総合福祉会館で敬老のついでに
十七歳以上のお年寄りを招



新しい施設で楽しい催しが...

待した「敬老のついで」が、九月十三・十四・十六・十七日の四日間、市立総合福祉会館集会所で開かれました。市立総合福祉会館は、今年の

六月に開館。一階が老人福祉センター、二階が社会福祉会館として使われています。今年の敬老のついでには、この施設をお年寄りに披露することも兼ねて開かれました。

コイよ大きくなれ

保育園児が放流

「早く大きくなってね」と保育園児たちが錦ゴイの稚魚二千匹を放流。

九月十六日、高座地区河川を



園児たちが一斉にコイを放流

園（本多鈴子園長、園児七十八人です。保母さんに引率された園児らは、一人ひとり小さなバケツにコイを入れて、相模川に放しました。

交通安全を決意

交通安全防止市民総決起大会

九月三日、市文化会館で「交通安全防止市民総決起大会」が開かれ、座間市、海老名市の自動車運転手など約千人が参加しました。

交通安全さわやかに



交通安全の歌を全員で合唱

同大会では、座間警察署交通課長による交通事故防止の心構えの話を、藤山一郎さん（歌手）による交通安全の歌の発表が行われました。また、交通事故をなくし、明るく住みよい地域社会の実現を

展示・即売に人氣

第4回おとしりの作品展

中心荘（浦野正永園長、百三十五人）のお年寄りが作った手芸作品や木工芸作品などの展示・即売を中心とした「第四回おとしりの作品展」が九月十四日から十八日まで、二丁目海老名店文化ホールで開かれました。



かわいいブローチや人形がいっぱい

同展は、市民のみなさんに地域の共有財産である老人ホームと老人福祉に対する理解を深めてもらうことがねらいです。会場では、ブローチ、水中花、じエロの形、紙人形など百円から三百円のものも多く売れました。

お近くで健診を

乳がん・子宮がん、一般診査など

乳がん・子宮がん
7月から市内の左表の医療機関で受診できるようになりました。ご利用ください。▽対象：40歳以上の方。▽受診料：無料。▽検診内容：問診、理学的検査、血圧測定、検尿および身体計測。▽施設検診を市外で受診される方は、あらかじめ予防保健課へ問い合わせください。

市民レク10会場

地域の市民のみなさんが一堂に会して開かれる「市民レクリエーション大会」が、今年も市内10会場（下表）で一斉に行われます。親睦を合い言葉に、各地区自治会が中心となって行われるこの大会に、あなたもぜひご参加ください。

会場	期日	予備日	対象(自治会)
資生堂アラウンド	10・9	10・10・10・16	国分第1~5区、望地勝瀬
大谷小学校	"	"	大谷、海老名みずほハイブ国分寺台、浜田町国分寺台3~5丁目
上星小学校	"	10・10	上今泉、上今泉1~5丁目
柏ヶ谷小学校	"	"	柏ヶ谷東建ニューハイブ海老名東柏ヶ谷1~3丁目
東柏ヶ谷小学校	"	"	東柏ヶ谷4~6丁目
有鹿小学校	"	10・10・10・16	河原口、上郷、下今泉海老名スカイハイブ
中新田小学校	"	"	中新田、中新田えびな団地さつき町、さつき住宅
社家小学校	"	10・16	社家、今里
門沢橋小学校	"	10・10	中野、門沢橋
有馬小学校	10・10	10・16	本郷、杉久保、上河内中河内

乳がん・子宮がん、一般診査等実施指定医療機関

○印は実施する検査(検診)を示す

医療機関	住所	電話	子宮がん検診	乳がん検診	乳房診	一診	一般
坂本医院	国分2009	31-0871					○
植田医院	国分1960	31-0327					○
鈴木医院	国分368	31-3107	○				○
海老名中央医院	国分887-2	31-4776					○
勝又医院	国分3079-7	33-1260					○
中央医院	国分寺台5-13-11	31-7823					○
北川医院	国分寺台1-18-1	32-0550					○
伴胃腸科外科医院	国分寺台2-6-1	32-3141					○
横山外科胃腸科医院	国分寺台5-13-1	32-6767					○
武岡産婦人科医院	国分寺台5-13-13	32-2271					○
小嶋医院	中新田924	31-0300					○
石坂整形外科医院	中新田490-2	32-8800					○
さつき町診療所	さつき町1-21-101	32-3821					○
三宅医院	河原口434	31-0344					○
西村整形外科医院	上郷669	33-1515					○
高座中央診療所	上今泉3-1-4	31-6515					○
三宅内科医院	上今泉5-20-20	32-6020					○
増田産婦人科医院	柏ヶ谷1141	31-1534	○				○
葉梨整形外科	柏ヶ谷719-4	32-8500					○
柏ヶ谷中央医院	東柏ヶ谷1-22-10	32-1650					○
佐藤クリニック	東柏ヶ谷16-15-5	33-2211					○
くの小児科医院	東柏ヶ谷1-24-6	33-3221					○
さがみ野診療所	東柏ヶ谷3-17-31	31-9981					○
藤本内科	東柏ヶ谷3-3-9	31-1566					○
社家クリニック	社家508	38-1219					○
小林内科医院	社家3612	38-1680					○
中野医院	今里199	31-1680					○
平澤医院	杉久保2636-1	38-2066					○
高橋産婦人科医院	本郷4000-2	38-4511					○
加藤医院	門沢橋470-2	38-3210					○

市外(座間市・綾瀬市・寒川町)の医療機関での診査を希望される方、また、問い合わせについては、予防保健課。

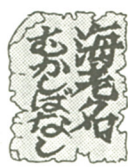
赤い羽根共同募金にご協力を 10月1日から

共同募金運動には、毎年みなさんのご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。今年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が始まります。みなさんの温かいご協力をお願いします。共同募金会海老名市支会。

大谷地区に鍛冶返(かしがえり)という小字があるが、その地名は鎌倉時代に鍛冶屋集落があったことに由来する。昔から農民は衣食住の完全な自給自足をたもてて生活していたが、自給できないものに塩と鉄(へび、鎌)かきなどの農具器具があった。しかし塩の方は毎辺の人たちの物々交換で解決できたが、鉄、鎌などは簡単に入手できなかつた。

そのため、豪族は領内の適当な地に鍛冶屋集落をへび、農耕刃物を生産するやうに、刀剣鍛冶場をもちよせた。鎌倉時代、高座中部は谷一族(はんぎ)の地で、洗谷庄と呼ばれ、洗谷町重臣の子や孫が地頭として支配していたが、重臣の長子光重には六人の男の子がいて、早川郷には長男の太郎重直、吉岡には次郎重重、杉久保土台の城山には三郎重保、大谷には四郎重茂、堂山には五郎重定、落合には六郎重貞と血脈を要所を固めて、その中心地にこの鍛冶屋集落をつく

り、この鍛冶屋集落をへび、農耕刃物を生産するやうに、刀剣鍛冶場をもちよせた。鎌倉時代、高座中部は谷一族(はんぎ)の地で、洗谷庄と呼ばれ、洗谷町重臣の子や孫が地頭として支配していたが、重臣の長子光重には六人の男の子がいて、早川郷には長男の太郎重直、吉岡には次郎重重、杉久保土台の城山には三郎重保、大谷には四郎重茂、堂山には五郎重定、落合には六郎重貞と血脈を要所を固めて、その中心地にこの鍛冶屋集落をつく



第76話 鍛冶返



また、団地造成のため跡形もなくなってしまうが、丘の上には以前稲荷明神の祠(ほり)があり、この辺一帯は稲荷山といわれていた。

この稲荷明神は、鍛冶屋集落の氏神だと語り伝えられているが、宝治二年(一二四八)渋谷

一族が拳(こぶせ)で九州摩多の新領に移住した際、腕の良い鍛冶工は大部分に從って行ってしまったので、集落も活気を失い、稲荷明神も荒廃してしまつた。

その後この地に残つた鍛冶屋たちは、鎌や鉄などの農具を作つて売って歩き細々と暮らしてきていたが、日暮れになると集落へ帰つて行つたので、たれ言つたか「鍛冶場」と呼ぶやうになつた。

「返」が誤用されるようになったのは、小田原北條の戦地以後のことであるから、祐軍(ゆづつ)『書紀』か地校人の書き誤りがそのままだと推してしまつたものだろう。

「鍛冶」という文字や音から、刀鍛冶や刀剣を連想する故か、刀工正宗が老後隠遁(こんじん)したことが、手棒(てんぼう)正宗がここで力を磨いたことが、どこぞに名刀が伝つたことが、どこ(い)わく、ありげな俗話や講談だが、調査の結果ほとんど江戸末期から明治へかけての作り話であつた。

「鍛冶返」というのは、「鍛冶ヶ谷入り」が訛(なま)つたといつて説もある。